

## 第6節 廃棄物



高度成長を遂げた日本では、高度化とともに大量生産・大量消費・大量廃棄といわれるように、環境への負荷が大きな問題となって現れてきました。

廃棄物の質も多様化し、量は増大しています。

その結果、最終処分場の残余容量も少なくなり、経済社会システムを見直すことが必要になってきています。廃棄物の発生を抑制し、使用済み製品の再使用、再資源化するなど対策が急がれています。

東広島市では、これまでも廃棄物の発生抑制・リサイクルに積極的に取り組んできましたが、それ以上に国際学術研究都市としての目覚ましい発展によって、人口・事業所数が増加し、ごみ排出量も増加しました。

事業者、工場がとるべき対策に加え、市民のごみの分別収集、リサイクルなどのさらなる協力が大切です。



### 1 廃棄物の概要

『廃棄物』とは？



廃棄物とは、自ら利用できなくなったり、他人に有償で売却できないために不要になったものをいうよ。

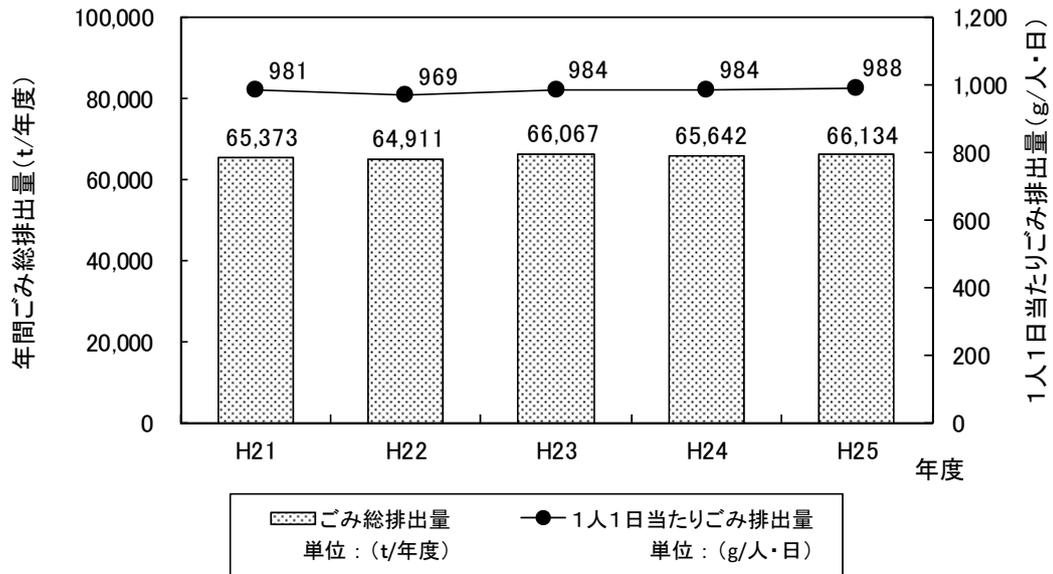
廃棄物は一般廃棄物と産業廃棄物に大別され、その処理は一般廃棄物については市が、産業廃棄物については事業者の責任とされているホー。



## 2 東広島市の廃棄物の現状



東広島市で排出される一般廃棄物のうち、平成 25 年度のごみ排出量は 66,134 t だよ。  
これを 1 人 1 日あたりに換算すると、988 g/人・日となるホー。



また、平成 25 年度のし尿及び浄化槽汚泥の排出量は 81,242 kL だよ。  
これらの一般廃棄物を減量・資源化することが、今後の課題だホー。

